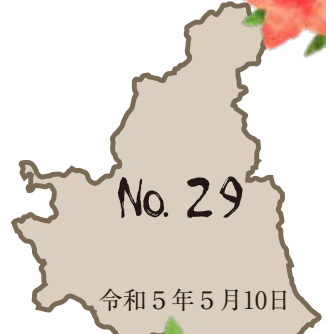


耀

議会だより

KAGAYAKI

やかげ



No. 29

令和5年5月10日

大高草家(脇本陣)

門に飾られた“役物瓦”
鯨(しゃち)《火災厄除》と
玄武(亀)《長寿・繁栄》

◎3月定例会・賛否両論！令和5年度一般会計当初予算
◎一般質問・質す！【10名】質問会を降りてひとり言
◎臨時企画…矢掛高校の魅力化を図る！《地域連携講演会》
今、地域連携で目指す“永遠の矢高”



振興対策など未来への投資 89億5千万円 … 予算編成を評価

令和5年度
一般会計予算は
賛成多数にて
原案の通り、
可決しました。

第7回定例会報告

山岡町長から招集された3月定例会は本年3月6日から会期を15日間と定めて開催されました。

重要案件である各会計の当初予算案をはじめ、条例に関する案件・補正予算案等の審議を行いました。

主に町・住民に係る事業や行政サービスを行う一般会計は、歳入・歳出ともに89億5千万円（1号補正後90億3千1万円）が計上され、特別会計・公営企業会計を合わせた予算の総額は182億9280万円で、前年度比7.7%増でした。議会は提出した発議案のほか執行部上程の42議案を採決した結果、全案を原案通り可決・承認しました。



浅野 毅 議員

賛成しました！

当町の最重点政策である人口減対策関連予算、農業関連予算、都市再生整備計画関連予算、観光事業関連予算、重伝建保存予算、矢高魅力化事業予算、福祉関連予算とそれぞれバランスの取れた当初予算であり賛成した。

2

令和5年度の当初予算編成は、「農業振興対策基金」を活用した農業振興対策など新規事業が多く盛り込まれている。また、少子化対策や防災対策などにも様々な支援が盛り込まれており賛成する。

賛成しました！



土田正雄 議員



川上淳司 議員

賛成しました！

令和6年度の合併70周年の記念事業のための基金が作られ、かわまちづくり事業、矢掛高校の魅力化等に予算編成され、満足している。また、ふるさと納税が多くなって、納税者の意思を尊重した活用をお願いしたい。

人口減少対策・子育て支援の充実・農業 令和5年度 一般会計予算 より良いまちづくりへ！

* 令和5年度 矢掛町全会計当初予算：182億9,280万円 *

◎ 一般会計	89億5,000万円	国民健康保険	16億3,100万円
《公営企業会計》		《特別会計》	
病院事業	19億1,400万円	介護保険	20億4,100万円
介護老人保健施設	4億1,650万円	後期高齢者医療	2億6,200万円
水道事業	13億7,300万円	地域開発	3,400万円
下水道事業	16億6,300万円	各財産区(13)	830万円



石井信行 議員

反対しました！

亀島キャンプ場との重複があり、地元説明一切なしのかわまちづくりに1.7億円。昨年、DXアプリ導入調査に4,800万円支出されているのに、今回、またデジタルツールシステム8,350万円が計上、DXが機能するのか疑問。

人口減少問題に空き家有効活用、定住促進の団地や子育て支援施策の継続、また、農業振興対策基金を活用した農業支援、狭あい道路の整備、防災対策等住民生活に密着した予算で評価できる。

賛成しました！



小塚郁夫 議員



原田秀史 議員

賛成しました！

出産・子育て世代への支援を通しての人口減少対策や高齢者の移動手段の確保のための地域公共交通計画の策定、また、農業振興対策基金を活用しての農業施策等、バランスの取れた予算編成となっており、評価する。

* 病院事業会計 《矢掛病院》*

収入(病院事業収益)	17億3,700万円
支出(病院事業費用)	17億3,700万円
年間患者数	82,910人
〈入院患者数〉	38,690人
〈外来患者数〉	44,220人

* 水道事業会計*

収入(水道事業収益)	3億 600万円
支出(水道事業費用)	3億2,600万円
給水戸数	5,350戸
年間給水量	1,300,000m ³
1日平均水量	3,562m ³

* 介護老人保健施設 《たかつま荘》*

収入(施設事業収益)	3億2,100万円
支出(施設事業費用)	3億2,600万円
年間患者数	23,500人
〈入院患者数〉	17,200人
〈外来患者数〉	6,300人

* 下水道事業会計*

収入(下水道事業収益)	7億4,100万円
支出(下水道事業費用)	7億8,100万円
接続戸数	3,780戸
年間総処理水量	1,066,000m ³
1日平均処理水量	2,921m ³

我々町民の生活に密着した
なくてはならない「事業体」
…
令和5年度 公営企業会計
運営のあらまし

農業・商業・観光業など地域産業への支援と高齢者や子ども達への福祉の充実、生活道路の保守・改良事業の外、安定した水供給に取り組むための水源地の増設計画に取り組む予算配分となっており評価する。

賛成しました!



田中輝夫 議員



岸野榮治 議員

賛成しました!

町内人口減少対策に民間賃貸住宅等の建設補助を新規事業として計上し、また、農業振興対策基金による町独自の農業支援施策を実施している。かわまちづくり事業により町の更なる発展につながる予算は賛成である。

人口減少対策を念頭においた子ども・子育てへの支援、高齢者・障害者への福祉充実、また合併70周年記念を睨んでの準備、公共交通実施への着手もあり農業施策も継続拡充しているので、評価に値する。

賛成しました!



福田京子 議員



昼田政義 議員

賛成しました！

令和5年度の予算は子育て世代への支援、高齢者福祉対策、農業振興対策基金の活用・防災対策・水道事業・かわまちづくり、また、コロナ対策が組み込まれており、おもいやりのある予算編成であるため賛成する。



土井俊彦 議員

賛成しました！

コロナ収束の気配が見え始め、ふるさと納税額も大幅に増え、財政の健全化、経費全般の節減合理化に一層努力していただき、町民の安心安全で住みやすいまちづくりを期待する。

かわまちづくり計画

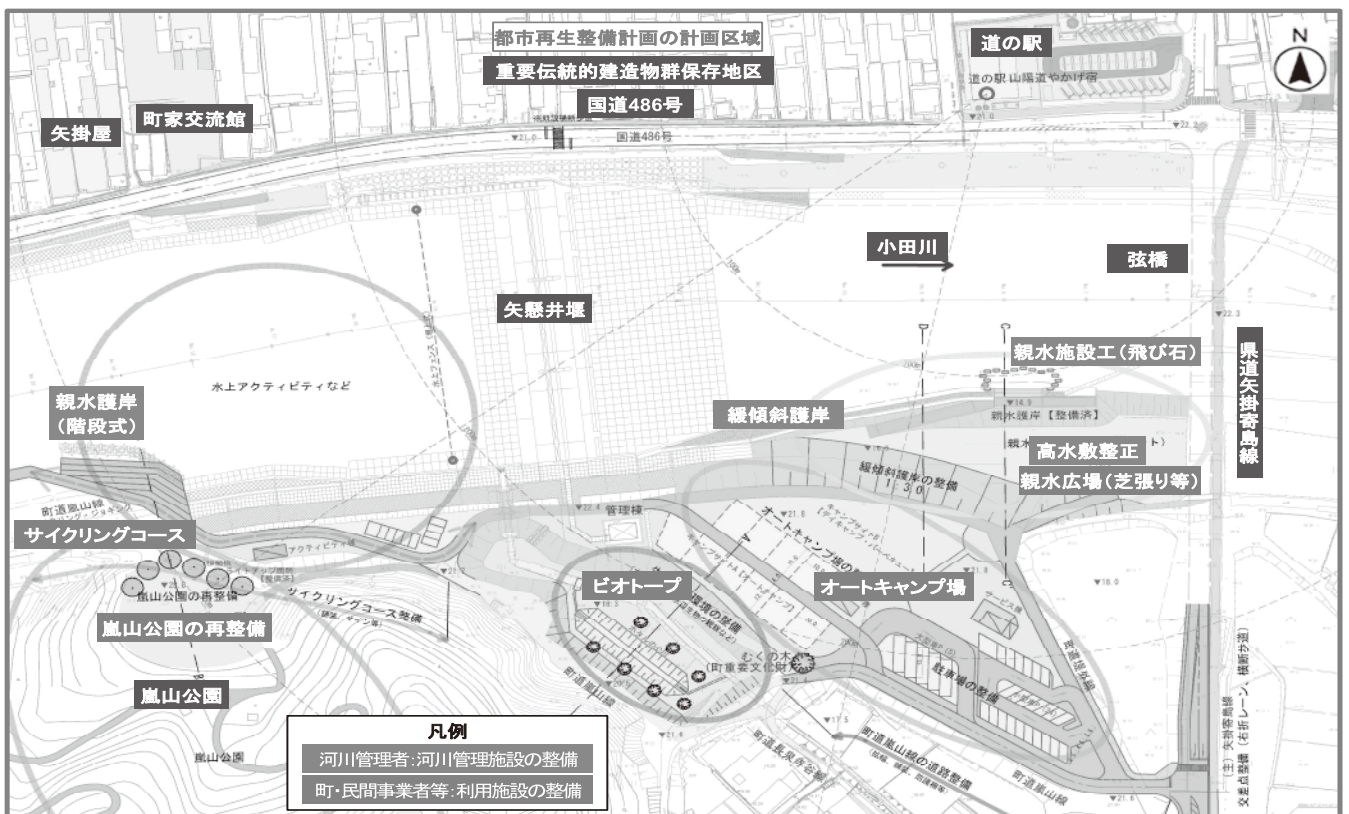
【事業解説】

ベースは国土交通省が創設した「水辺を活かし地域の賑わい創出を目指す取組『かわまちづくり』を推進・支援する制度」です。

町は同制度に申請し令和4年8月に登録・同9月の登録証伝達を経て本格的に事業へ着手し、令和5年度当初予算へ事業費1億7千万円を計上しました。

主な事業内容は小田川右岸の水辺を整備してオートキャンプ場・ビオトープ・親水広場・水上アクティビティなどを展開することで地域の魅力向上や観光振興の促進を図るとしています。

同事業の予算審査では、委託料の概要や施設整備費の内容について質疑があり、事業推進に反対の意見もありましたが、賛成多数で可決しました。



～第1回～
3月定例会

提案・要望…あれこれ聞きました！ 一般質問

7ページ	土田 正雄 (1)町民課窓口における番号札の導入について (2)米作り農家応援事業について	
	田中 輝夫 (1)水道施設の寒波による被害状況と水源地の増設計画、水道スマートメーター導入について (2)マイナンバーカードの発行状況と更なる普及促進について	8ページ
9ページ	川上 淳司 (1)矢掛高校の存続について	
	昼田 政義 (1)町長と語る地域座談会のなかで出た、ふれ愛バスの有効活用と福祉タクシー券配付事業について (2)防災訓練の実施サポートと避難所の緊急備蓄品とドローンの活用について	10ページ
11ページ	石井 信行 (1)西日本豪雨災害の検証について (2)「かわまちづくり」について (3)毎戸遺跡（駅家遺跡）保存の今後について (4)国民健康保険税率と機構改革について	
	小塚 郁夫 (1)石畳風景観舗装の整備について (2)無電柱化について（西町・東町地区）	12ページ
13ページ	土井 俊彦 (1)アフターコロナを見据えた町民の多様な学びと教養を深める文化振興の展望と、やかげ文化センターを基軸とした取り組みの運営について	
	原田 秀史 (1)買物弱者について (2)町道運動公園線について	14ページ
15ページ	浅野 毅 (1)農村RMO（農村型地域運営組織）について (2)重伝建地区の維持発展のための具体策について	
	岸野 榮治 (1)飼料米専用品種の実績について (2)農業振興対策基金の運用について	16ページ

審 議 結 果

矢掛町議会ホームページをご覧ください

<http://www.town.yakage.okayama.jp/gyosei/gikai/gikai.html>

“定例議会の審議結果”をクリック

全42議案の審議結果をアップしています。



携帯電話・スマートフォンの方はQRコードを読み取りください。



窓口業務を円滑に！…番号札の導入を

コメ生産農家応援事業の推進を求む！



土田正雄 議員

問 町民課の窓口業務は週明けなど特定の時期は混雑し、受付済みかまだなのか、区別がつかなかったり申請書類の提出場所が分からないなどの声も聞く。そこで窓口のカウンターに番号札を置き、申請者に番号札を取ってもらう等の方法を検討してはどうか？

答 町民課長
番号札制を導入すれば順番通りにという安心感はある。現在の窓口体制は混雑時には直ちに他の職員へ声をかけ来庁者に待たせることがないよう業務にあたる。町民課の窓口は

総合案内として他の課への案内をする役割もあり、番号札制度の導入と運用については検討していく。



役場町民課窓口。総合案内としての役割もある

問 昨年から肥料や農業機械の高騰でコメ生産農家は継続の危機にある。「ふるさと納税」における返礼品には、『地域資源を活用し、地域の活性化を図る』という役割がある。そこでふるさと納税の返礼品としてふるさと米の販売をJAに委託し、JAに出荷した農家に対し一反当たりの出荷限度を設けて奨励金を交付しコメ農家を応援してはどうか？

答 企画財政課長
矢掛町は平成20年から

ふるさと納税制度を運用し地域の活性化のため寄附額の増大に努めている。

返礼品を出荷した農家に限定しての奨励金の交付は実質的な返戻金の上乗せとも考えられ、返礼品価格を寄附金額の30%以内に収め且つ寄附を全体経費額の50%以内にというルールに抵触する恐れがある。また、ふるさと納税返礼品を提供している事業所等に対してはも公平性の観点からコメ農家のみを対象とした支援は見送る。農業振興を図るため「矢掛町農業振興対策基金」を創設し、本年度予算で同基金を財源とした複数の農業支援策を盛り込んでおり町全体の産業振興のバランスを取っている。



次の世代に農業を引き継いでいくためにできる事を…

問 今年も肥料の高騰が予想され米の価格も低迷しておりコメ農家の離農も懸念される。本年度一般会計予算での農業振興対策予算と観光振興対策予算とを比較すれば矢掛町全体での産業振興のバランスがとれているとは言い難い。ふるさと寄附金の一部を基金に積み立てて町内販売農家の9割を占めるコメ農家に補助を行ってはどうか？

答 企画財政課長
本町では寄附を受ける際に使い道を選択して戴き子育て支援など7つの区分で管理しており、事業実施に伴い基金への積み増しが必要になればふるさと納税寄附金を有効に活用する。

質問台を降りて…

ひとり言

ふるさと納税寄附金の使途については幅広く産業振興などにも活用できるように今後も提言していきたいと思えます。

寒波による水道施設の被害状況は？

マイナンバーカード発行状況を問う！



田中輝夫 議員

問 今年の寒波による水道施設の被害状況は？

答 上下水道課長
家庭内の給水設備の凍結・破損事故が約1000件、町管理施設の末端給水管の破損が5件と例年に比べ被害が少なく、これは町民の凍結・破損防止対策や意識向上による大きい。

問 渇水時には「節水」を呼び掛けているが現在の水源地における取水量は十分確保可能なか？水源地の増設計画の有無は？

答 上下水道課長
現在町内7か所の水源地は全て浅井戸。日照りや干ばつが続くと取水量の確保が出来ない状況が発生。新たな水源地確保のためボーリング調査等々の必要経費を予算計上している。



江良水源地

問 今後の水道事業を見据え、各家庭に水道利用量が遠隔で自動的に把握できる「水道スマートメーター」の導入について、本町の見解を問う。

答 上下水道課長
水道スマートメーターは検針作業が不要で、測定データの活用で宅内漏水の早期発見が可能となる。

また付加価値的に水道使用状況の把握で高齢者の見守りに役立てることが可能。反面コストの課題があり現時点で全町的な導入は困難だが将来的には技術革新や普及率増に伴う市場原理により費用対効果が見込まれると推察しており、情報収集や検討を続けていく。本町では消費税率の改定を除き、水道料金の改定を行っておらず、経費を抑制し安定した経営を継続して現在の料金水準を維持していくよう努力する。

問 マイナンバーカードの発行状況を問う。

答 総務防災課長
令和5年2月末で本町の交付率は約65%・8830枚が交付済み。申請件数ともども県平均をわずかに上回っている。内容を分析すると60〜70歳代が70%を超え80歳代が58%だが30歳代未満は50%程度である。

問 庁舎内でのサポート実績とサービス概要は？

答 総務防災課長
サポート窓口の実績はカード申請件数405件・マイナポイントの紐付け等で千人以上の利用があった。



マイナンバーカードの普及促進のため庁舎ロビーに開設されたサポート窓口

現在コンビニ交付は住民票・印鑑証明書・コロナワクチン予防接種証明書のほか、将来的には戸籍のほか各種納税証明書など取得できるように進めていく。

質問台を降りて…

ひとり言

町民も気掛かりだった燃料・光熱費等の高騰ですが「水道料金」は現状維持との回答を得て、少し安心しました。

伝統を引き継いで

魅力的な矢掛高校を目指そう！



川上 淳 司 議員

問 令和4年12月16日の高校の再編整備基準の見直しで配慮事項があり、同一市町に県立高等学校が一校の場合、令和10年までは、再編整備基準を保留されることになった。しかし、この状況に安心することなく、矢掛町として、今後どのような対策をするのかを問う。

答 教育長 本町に唯一の県立高校である矢掛高等学校については、再編整備の対象とはならない。町からは、既存の矢掛高校魅力化事業による財政支援が主になると思

うが、「矢掛教育会議」をはじめ、町や地域、小中学校等と矢掛高校をそれぞれの立場から矢掛高校と連携、協働して盛り立てることが必要だ。

矢掛高校からも、「やかげ学」やボランティア活動等で、どんどん地域に出てきてくれて、部活動や生徒会を通じた小中高相互の連携等も計画されている。

彼らを積極的に受け入れ、盛り立てて、より充実した活動してもらおうことで、そのまま地域の活力となっている。



歴史ある正門

今後も、一層の活躍の場を提供できるよう、努めていきたい。

問 来年度入試から矢掛高校は、生徒の全国募集

をする予定なので、教育課に『地域おこし協力隊』の学習支援員の募集依頼をしたが、町としてどの程度の体制づくりをしているか。

答 教育課長 高校生に対する学習支援が受験対応なのか、それとも日々の勉強についての学習支援なのか、自主学習における見守りを含めた支援なのか、具体的につめていない。行政としてどう支援を行っていくのか。関係者とも協議を進めていく。

問 矢掛高校が行おうとしている全国募集については、県内外からの生徒に対しての交通費負担、寮の設置、協力家庭の募集、自習自習スペースの設置等の課題について、町長の考えを問う。

答 町長 矢掛高校の存続に対しては、あらゆる手段を講じていかなければいけないと強い危機感を抱いている。行政としてできることを

考えているので、質問があった点についても検討していく。



真心をもって人に接し力を尽くして努力する

提言

今後ますます、矢掛高校は、厳しい状況にさらされる。少子化も待たないでいる。現在の状況を維持しつつ、魅力ある高校になるよう、皆さんで考えよう。

質問台を降りて…

ひとり言 矢掛高校の存続について、アピール出来たでしょうか。町長のお答えを聞いて少し安心できたが、教育課もすっかり取り組んで欲しいものです。

ふれ愛バス・福祉タクシー券…見直し急げ！

防災意識高揚…避難訓練実施の推進を！



屋田政義 議員

問 現在運行中のふれ愛バスは、使い勝手が悪いなどの意見が町民から多数聞かれる。町のアンケート調査では色々な意見が出ていると思うがそれらを反映した運行計画はいつ提示されるか。また福祉タクシー券配付事業は町民の意見をもとに利用基準を改訂する予定はあるか？

答 福祉介護課長 昨年実施した「地域公共交通に関するアンケート調査」は現在集計中。令和5年度実施の「地域公共交通計画査定委員会」からの答申をもとに地域福祉バス



町内7地区を巡回する「地域福祉バス」運行に関しては町民から様々な意見が…

福祉タクシー助成事業

*** 変更内容（支給対象者） ***

- 75歳以上で運転免許証を不所持の方
- 精神障害者保健福祉手帳1級所持者

〈実施〉令和5年4月1日から

※広報やかけ・町ホームページ等で広報

のあり方や新たな公共交通施策の導入を含め、約一年程度の検討期間が必要なので方向性を示せるのは次年度になると思われる。福祉タクシー券配付事業については町民からの要望や実態に鑑み、令和5年度からタクシー助成の対象者を見直す。

答 総務防災課長 町では自主防災組織の活動に対して補助金制度を設けている。訓練や講演会などのソフト事業にも対応しており、既に利用済みの組織も複数ある。研修会や

そのマニュアルを元にした避難訓練等を推進するため町としての施策はあるか？ また避難所の緊急備蓄品の保管等の状況はどうか？ 更に災害時にドローンを使った状況把握は大変有効とされているが、本町ではこれの利用計画はあるか？



地区住民をあげて臨む消火訓練の風景。マニュアルを活用し、常に「防災意識」を！

問 昨年の定例会で要望した防災訓練に際してのマニュアルは作成戴いたが

質問台を降りて…

ひとり言

福祉のバス・タクシーが町民にとって使い勝手が良くなればいいな。

身の安全確保のために「避難訓練」をしましょう。

図上訓練などの企画運営の手伝いを行うNPOもあるので相談して戴きたい。緊急備蓄品の保管場所は町内7小学校体育館・B&G海洋センター備蓄倉庫・中川南避難所で、毛布・水簡易食料、また間仕切り・発電機・バルーン投光器・スポットクーラー・蓄電池などを用意している。飲食物は賞味期限が近くなれば防災訓練等で利用してもらっている。ドローンの利用計画については、井原地区消防組合との連携を図りながら導入研究をしていく。

執行部の見解を問う！西日本豪雨災害の教訓活用・

かわまちづくり・毎戸遺跡保存・国保税率据え置き・農業専門部署設置



石井 信行 議員

問 西日本豪雨災害からの教訓は行政と町民との相互共有が必要だ。行政としてはどう捉えているか？
また災害対策本部と各避難所、各湛水防除施設、各家庭との連絡体制はどんなっているのか？

答 総務防災課長
衛星通信を利用した情報収集手段の多重化、迅速適確に地域住民へ情報提供できる体制整備を進める。自治体デジタルトランスフォーメーションを推進する中で情報共有するシステムなどの充実が必要。

問 災害を後世に伝えるために、写真集と記録碑を創る考えはないか？

答 総務防災課長
その計画はなく、町民の皆さんに被害の実態を語り伝えていただきたい。



本堀地内「きらり」裏 決壊修復土手

問 「小田川（嵐山）かわまちづくり」は、いつどこで決まったか？事業費として1億7千万円の計上があるが、全体計画が出ておらず、議会に提出するべきではないか？

答 建設課長
第6次矢掛町振興計画

に位置付けられている。この計画は議決案件ではない。昨年6月の議会全員協議会で説明している。

問 『毎戸遺跡』の地権者は発掘作業後の埋め戻しの土が硬くて耕せず野菜作りも出来ない状況。協力報償をすべきではないか？また遺跡の最終保存はどのような形でおこなうのか？

答 教育課長
発掘調査は地元要望でもあり報償は考えてない。全国的にも珍しい建築部材が出土し具指定史跡を目指して調査を継続する予定。

問 発掘調査で古代山陽道が駅家（つまや）遺跡だと確定されるのか？

答 教育課長
今回の調査はそのことを含め建屋跡の確定が目的であった。今後は文化財の専門機関から助言をいただくべく計画している。

問 国保据え置き、農業専門部署の機構改革はできないか？

答 健康子育て課長
支払基金繰入実施の上なお不足の部分については今後の税率見直しも検討が必要だが回避に努める。

答 町長
苦しい運営の中で今年度は国保税率を据え置く。機構改革については農業に特化した担当課の改善を図りつつ、農業振興対策基金をもとに農業生産者支援等々、策を考えている。

質問台を降りて…

ひとり言

西日本豪雨災害の教訓は、被災状況が町民全体のものにできていなかったことではないか。災害記録は作るべきではないか。

石畳風景観舗装の整備推進を！

防災の観点からも無電柱化を……



小塚 郁夫 議員

問 石畳風景観が実施された本町に訪れる方や町民の皆様非常に好評、しかし商店街全体を鑑みるとやはり西町、東町の未整備区間が目につき道の駅を中心とした整備になっており、矢掛駅からの来訪者に分かりにくいとの指摘も受けている。井原線は今後とも、重要な交通機関で観光の拠点である。

答 そこで矢掛病院から矢掛駅ロータリー部を含む箇所を石畳風景観舗装で整備すべきと思うが、見解を問う。

答 建設課長
矢掛病院から矢掛駅前

ロータリー部を含む箇所の整備について、現在整備計画はしていないが、景観整備の観点及び舗装の劣化状況等整備の必要性、また財源確保のための事業化等に関して検討していく。



石畳風の景観舗装された道

問 町長の見解を問う。

答 町長
この事業は令和元年より前町長の時に立ち上げられた商店街を中心とした整備事業で、まずこの引き継いだ事業を完結させていき地元議員のまちづくりに対して積極的な提言であるとして、しっかりと受け止め、矢掛駅までの石畳風景観舗装を多方面から、その必要性和効果について検討する。

問 無電柱化は令和3年2月に完了しているが、西町、東町の無電柱化工事も当時、実施すると聞いている。今後の計画等の考えを問う。

答 建設課長

本町では、平成30年度国土交通省が全国11カ所の地区で実施した、官民連携無電柱化支援事業に中国地方で唯一選定され、平成30年度から令和2年度までの3年間で510メートルの区間で総額約4億円を費やして実施した。

11地区の中での事業延長が一番長く、また電線管理者の方も多量の中、成功事例として高い評価を受けている。官民連携無電柱化支援事業の当初計画は西町から東町までの約970メートルを事業区域として選定されており、3年間の限られた事業期間で最も効果的な区間として、現在の区間を施工している。

残りの区間についても計画そのものがなくなっただけではなく、昭和50年代後

半から街並み景観向上や防災の観点から地域住民の皆様からの要望を受け一部が実現した。残りの区間を官民連携無電柱化支援事業と同様に進めていくことは困難な状況、まずは財政的に実現可能な事業に即座に対応できるよう電線管理者の皆様と国の動向を注視しながら残りの区間についても粘り強く取り組んでいく。



無電柱化未実施の町並み

質問台を降りて…

ひ
と
り
言

石畳風景観舗装・無電柱化等、賑わい創出を継続して行く為にも、もっとしっかり提言していきます。

コロナ前後のイベントの開催は？

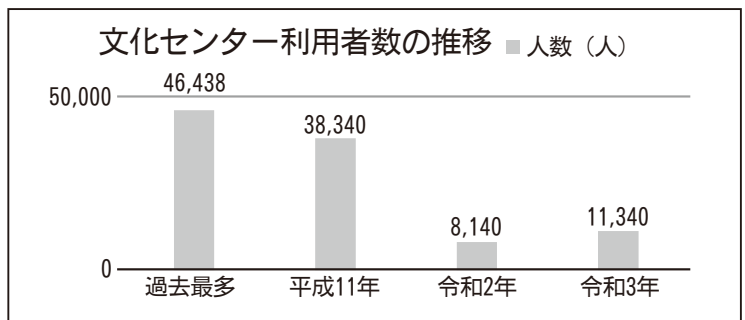
企画運営の組織が必要では？



土井俊彦 議員

問 コロナ禍の前と後では文化センターにおける各種イベント・催事の取り運びにはどのような差異、影響が見られたか？
 ウィズコロナからアフターコロナへの過渡期の今、昨年から徐々に文化・芸術・生涯教育に係る催事が再開され始めてはいるが文化を担う人づくりを推進し、コロナ禍以前の水準に戻すには企画運営に関しこれに当たる組織が必要と考える。町民が主体となって企画し推し進めるべきと考えるが、担当部署の方針・指針・見解は如何なるものか？

答 教育課長
 コロナ前の令和元年度イベント入場者数の合計は、二千百人、コロナ禍の令和2年度は中止となり実施していない。令和3年度は2か月程度の閉館、感染対策を行い4事業を実施し、入場者数は計千八百七人、令和4年度は3事業、入場者数は計千二百五十五人。影響という点ではイベント数は減少している。トータル的にコーディネ



コロナ禍で利用者は大きく減少した

ートが可能なイベント専門業者への委託を研究して運営委員会などで企画運営の方法についてのご意見を伺いながら進めてまいりたい。
 文化的観点からは、本年度は町内小学生を対象とした美術館での対話型鑑賞会を実施予定。美術に慣れ親しむ機会を作っていく。
 今後は合併70周年記念事業の募集も行われる予定。多様なイベントが開催され、その力が今後の文化を担う人づくりにもつながると考えている。



令和4年度やかげ音楽祭

問 今後の企画の参考に今までのアンケート調査の結果を問う。

答 教育課長
 令和3年・4年度で実施したアンケートは有料の自主イベントで、演歌・バイオリンコンサート・お笑い・ファミリーコンサート等の4公演。満足度は5段階評価で4点以上が平均91%。希望ジャンルはイベントによって異なるが、歌を中心としたコンサートの希望が多い。あらゆる年代の方々に様々なジャンルの鑑賞をしていただき活力としてもらいたい。

質問台を降りて…

ひとり言

ウィズコロナからアフターコロナへ、文化・芸術・芸能と元気になっていて喜んでもらいたい。

買い物弱者に対策を！

町道運動公園線の完成は？照明設備の設置は？



原田 秀史 議員

問 「流通機能や交通網の弱体化とともに、日常の買物が困難な状況に置かれている人々」が買い物弱者として位置付けられ、平成27年には、全国で700万人と推計され、今後も増加することが予測される。こうした対策には近くに買物場をつくる等の対策が挙げられているが、買い物弱者に対しての対策が必要な市町村が約86%、その内、行政による対策が実施されているのが約74%である。本町では、個人商店の廃業、矢掛市街地でも既存のスーパーの廃業、また、郊外への移転などにより、買い物弱者

に該当されている方が多くいると思われるが、こうした現状をどの程度把握、分析し、対策をどの様に考えているのか問う。



買物弱者の為の民間の移動スーパー

答 福祉介護課長 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するためのアンケート調査により、実態を把握し、それに応じた対応をする。また、現在は地域福祉バス、福祉タクシーなどによる対応がなされている。

問 先程のアンケート調査内容では買い物弱者の実態把握は不十分と思われるため「買物困難者マップ」を作る必要があるのではないかと。また、地域福祉バスの運行は、買い物弱者にも対応できるルート設定が必要ではないかを問う。

答 福祉介護課長 地域福祉バスは民間事業者との関わりがあるため、今後公共交通施策としての位置付けのなかで検討する。

問 町道運動公園線は、令和3年度完成予定であったが一年間延長した経緯があり、現時点では完成に至っていない。国の交付金事業であるが、来年度以降も継続は可能なのか。また、最終的な交渉期限及び用地買収が出来なかった場合の今後の対応は？
更に、災害時の避難場所である総合運動公園への避難経路としての位置付けの中、照明設備の設置は可能かを問う。

答 建設課長 国の交付金事業とし、令和6年度まで継続予定である。令和5年度に修正設計の予算を計上しているが、あくまで現計画での完成を目指しており、努力をする。また、照明設備の設置については、使用開始後



建設途中の町道運動公園線

必要に応じ検討する。

提言 買い物弱者対策を行政の重要課題と捉え、各々の地域で安心して暮らせる町づくりを推進するための新たな一歩として、買い物弱者マップを作成すること。
この路線の重要性を鑑み、令和6年度末までの完成及び照明設備の設置に向け適切な検討を願う。

質問台を降りて…

ひとり言

買い物弱者問題については、公共交通施策を注視する中で、この問題の解消を図るための問題提起及び提案を引き続きおこなう。

農村 RMO で地域を守り発展させる

重伝建地区の維持発展のため具体的マニュアルを



浅野 毅 議員

問 農村 RMO（農村型地域運営組織）について

令和2年3月の食料・農業・農村基本計画が閣議決定された。産業政策と地域政策を車の両輪とし、自給率の向上と食料安全保障の確立を図る。その中で地域を守り発展させていく一つの施策が農村 RMO のイメージであり、農業団体と社会福祉協議会、自治会、PTA 等各種団体で協議会を作りそれに国が支援する事業である。当町の見解は？

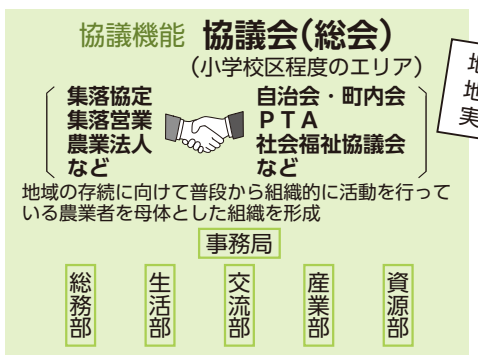
答

産業観光課長
集落の戸数が10戸を下回ると、水路などの保全や

祭りやイベントが難しくなり、住民同士の支え合いの力が弱まるといわれている。令和5年度の農水省の関係予算の重点事項の中で「農山漁村振興交付金」として当初予算で91億円が計上され、農村 RMO の形成とともにデジタル技術の導入・定着化を推進するものとされている。また、農水省では農村 RMO モデル形成事業支援として地域協議会が作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る調査、計画作成、実証事業等の取り組み、デジタル技術の導入・定着化を推進する取り組みに対して、定額で上限1000万円を最大3年間、支援を行っている。次に地域協議会のイメージは集落営農組織などの農業団体と町内会や社会福祉協議会といった地域団体など多様な団体で構成されるものとされている。また農水省主催で農村 RMO 推進研究会の WEB 会議のセミナーに参加したが、令和5年度の農水省の関連予算につ

15

問 重伝建選定、無電柱化、道の駅の相乗効果により矢掛が注目されている。今後は重伝建の町に相応し



いて、農村 RMO の支援策、仕組みの発表があった。産業観光課としても地域課題解決のために有効な制度、事業と認識している。また協議会等の設立を検討される場合は適切に対応する。

質問台を降りて…

ひとり言

この度の質問は農村 RMO と重伝建についてでした。町民の皆さんにわかりやすく質問をと考えたが、上手いかなかったように思います。反省。

答 教育課長
すでに、伝建制度を分かり易くするために作成している。問い合わせのあった転入者や現状変更、補助制度の利用を考えている方には渡し済みである。いづれにしても重伝建を取り入れてよかったです。保存地区の方だけでなく町民の皆様にも思ってもらえるよう努力を続ける。

いまちづくりが求められる。修理基準や修景基準また修理修景家屋の選定基準が一般に周知されていない場合があると思われる。そこで分かり易いマニュアルを作成したらと思う。見解を問う。

飼料米の生産の取組は？

農業振興対策基金の運用はいかに？



岸野 榮 治 議員

問 飼料米生産の取組では国の単価改定等を踏まえ計画的に専用品種への転換導入が必要だ。しかし、専用品種の栽培方法に慣れないため不安である。どんな専用品種があるのか。栽培方法は、一般品種とどんな点が違うか。栽培用種子はどこで入手するのか等の課題がある。担当課の取組を問う。

答 産業観光課長 一般品種以外の多収専用品種に何を推奨するかは、種子の確保見込みも含め、岡山県全体の課題となる。

矢掛町農業振興対策基金事業概要

事業名	内容・要件	補助率等			
有害鳥獣侵入防止柵整備支援事業	・受益戸数2戸以上・受益面積3,000㎡以上。 (上限20万円)	町1/2 申請者1/2			
農地流動化助成金事業	農地中間管理事業(機構)・利用権設定(利用権)等で農地を借受けた町内農業者				
	期間	機構(新規)	機構(再設定)	利用権(新規)	利用権(再設定)
	3年以上6年未満	4,000円/10a	2,000円/10a	2,000円/10a	1,000円/10a
	6年以上10年未満	10,000円/10a	5,000円/10a	5,000円/10a	2,500円/10a
10年以上	40,000円/10a	20,000円/10a	20,000円/10a	10,000円/10a	
※耕作条件不利地は1.5倍加算。利用権から機構に契約を切り替える場合は、機構(再設定)の単価とする					
農業共済収入保険助成事業	収入保険の保険料について補助金交付。	町1/2 申請者1/2 (申請初年度から最大3年間)			
農村活性化推進事業	岡山県荒廃農地再生・活用事業を活用し、新規に利用権設定や農地中間管理事業を利用する認定農業者・認定新規就農者に5万円/10a補助金交付。	県1/4 町1/4 申請者1/2 (県事業の町費負担)			
有害鳥獣防護柵設置事業	岡山県鳥獣被害に強い地域支援事業を活用し受益戸数3戸以上・受益面積20,000㎡以上連続した防護柵の設置に県に上乗せで補助金交付。	県1/2 町1/4 申請者1/4 (県事業に上乗せ補助金)			

岡山県井笠農業普及指導センターから、多収専用品種は一般品種よりも施肥を多くする必要があるので、肥料代の増加程度、交付金額等を考慮しながら導入を判断する必要があるとの助言があった。県の指導を戴きながらJA、農業者、関係機関等で構成される「矢掛町農業再生協議会」の方針に沿って情報提供をする。

断する必要があるとの助言があった。県の指導を戴きながらJA、農業者、関係機関等で構成される「矢掛町農業再生協議会」の方針に沿って情報提供をする。

問 農業の振興を図るため、矢掛町農業振興対策基金の運用が始まる。町長の取組への考えを問う。

答 町長 矢掛町の農業の現状及び課題分析を進め、矢掛町における制度設計について検討を進めた。矢掛町独自の補助事業として3つの事業を創設し、農業振興対策基金を財源として750万円を上程した。さらに岡山県の補助事業に対して、町独自の補助金を上乗せする。

質問台を降りて…

ひとり言

山に住むイノシシ、町に暮らす人、互に住み分けして、安全な生活が出来る社会が望ましいが、イノシシ達と話し合いは出来る相手ではない。

議会傍聴見聞録 ～議事堂から～

執行機関と議決機関が一堂に会する定例会〈本会議・委員会〉へ傍聴に来場された町民の方々からのコメントを紹介し行政・議会への関心・見える化を推進します。

◎議会を傍聴することが初めてだったので、どんな雰囲気で行われるのか分からないまま議場に入った（令和5年3月8日）。
実際に入ってみると、とても静かな雰囲気
で緊張感があり、自分の中の議会のイメージ
に近かった。

しかし、一つ一つの答弁が短くスムーズに行われている部分は自分のイメージとは異なっていて、新たな発見ができた。また、傍聴している人や議員など議会に関わっている人に「若い人」が少ないと感じた。
議会は難しいものだと思ったけれど若い人も関わるべきものだなと感じた。

矢掛高校 選挙動画チーム

高月 凱 士 さん

◎初めて議会の傍聴をさせてもらって『どんな話がされているのか』とか分からなかったけど、町民のために沢山の部署の方が話していて『こつやって町がいいものになっていくんだな』と感じました。
矢掛高校を残したいと思っている人が、矢掛高校生以外にもいて、ちょっと『ホッ』としました。

矢掛高校 選挙動画チーム

野 宮 康 生 さん



ぎかい君

令和5年第1回3月定例会の本会議〈一般質問〉に、矢掛高校選挙動画チームの生徒さんが傍聴に来られました。

同チームさんは「選挙の投票率を上げる」ことを目途に町と協力して“投票率向上を促進するためのPR動画の作成”に取り組まれました。

議会もこれに呼応し『適正な議会活動の上に若者の投票意欲を盛り立てるべく職務責任を果たす』よう、あらゆる町政への調査・研究、そして施策提起等に取り組んで参ります。

議会傍聴

してみませんか？

◎定例会本会議や常任委員会はどこまでも傍聴が可能です（お子様連れも可能）。

◎定例会開催期間中は庁舎3階にある議会事務局が受付窓口です。

本会議 一般質問

- ・ 総務文教常任委員会
- ・ 産業福祉常任委員会
- ・ 予算決算常任委員会

◎総務文教・産業福祉両常任委員会の傍聴に関しては委員長の許可が必要

◎プラカード・カメラ・その他録音機等
器物の持ち込みはできません

◎拍手・発言談論は不可。ただし緊急的な途中退室及び入室は可能です

お問い合わせ
矢掛町議会事務局
☎ 82-1119

議 会 ホ ッ ト ラ イ ン

矢掛町議会は

町民の皆さんに開かれた議会

を目指します。

皆さんのお声をぜひお届けいただきたく議会に対するご意見・ご要望の受付窓口として、議会直結の『ホットライン』を開設しました。お気軽にご利用下さい。

☆ファックス専用 ↓ (82) 9020

矢掛高校の『魅力化』を図る！…外部講師による地域連携講演会開催 今、地域連携で目指す“永遠の矢高”

議会は調査・研究の一環として、矢掛高校の更なる魅力化へつなげる方策・方向性に関する一つの在り方について、外部講師による『地域連携活動』に関する講演を受講しました。

現在矢掛高校は、県の「未来の学びプロジェクト事業」の指定校となっており、かねてより同校・高月秀人校長から「この事業の成功事例は地域連携の必要性の認識を共有できるものであり『矢掛高校の魅力化』を進める上でも有意義…」との推薦を経て実現したものです（実施日・令和5年1月25日）。

講師からはテーマに沿った全国の先進地の様々な取組事例を解説いただき、地域連携活動の推進は矢掛町の活性化を促進し、「まち・ひとの協働・連携」が将来的な矢掛町の魅力化へ繋がる可能性をつかがわせるものでした。

地域連携活動の本質は矢掛町民にとつての『まちづくり』であるとの認識を共有できるか否か？…講演会の概要を報告します。

【講演題】

教育の魅力化による地域の活性化
～全国に広がる高校魅力化プロジェクト～

講師 産業能率大学経営学部 教授 藤岡慎二氏

オナーサー 岡山県立矢掛高等学校 校長 高月秀人氏

全国の公立高校、特に少子化が進む地域を取り巻く現状は…



その結果☞学校がなくなった地域は“子育て世代”が流出…

地域連携の必要性！

☆あらゆる観点からの『町の課題』の克服、すなわち『地域創生』☆

◇議会の視点◇
《まちづくり》



議員A子さん

教育の充実が矢掛町の“活性化”につながる！

存続ではなく魅力化！

解説では「教育に力を入れない自治体や地域は、産業が空洞化しやがては町そのものが衰退する…」という講師の見解には説得力がありました。

単に「存続を目的化した学校は、子ども達や保護者に選択されない」と講師の主張するとおり『こんなすばらしい教育が行われていて、生徒は生き生きと生活し、成長しています！』という、学校における教育活動の充実こそが大切なことであり、同時に地域の意識が『矢掛高校の魅力化を応援する！』という第三者的な意識から『矢高生徒の成長が矢掛町の魅力化・活性化に繋がっていく』という私事（じぶん事）へと変わっていく必要があります。

これは正に『まちづくり』と言えます。

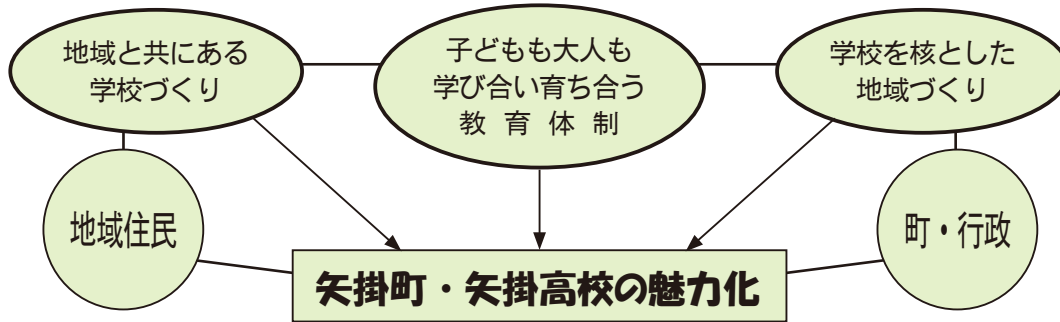
地域(まち・ひと)と矢掛高校の連携で活性化を図る！ 矢掛高校魅力化事業の概要

矢掛高校は令和元年度に県教委から「高等学校魅力化推進事業」の研究指定を受け、地域(まち・ひと)との連携の在り方を研究し「教育の質」を確保しながら学校としての新たな「魅力づくり」へ鋭意取り組んでこられました。

研究テーマとしては「町と協働した地域連携組織による探求人の包括的育成」を掲げ、「リージョナルモデル研究会※」を設置し、矢掛町及び町教委との協働体制のもと、地域をあげて矢掛高校の魅力化を推進しました。

※リージョナルモデル研究会：町内唯一の高校である矢掛高校の存続を企図し、学校の魅力化を図ると共にその基盤となる町の「心とつくり」や教育の魅力化促進に取り組む組織。

* 高校と地域の連携・協働の在り方 *



* 魅力化の取組支援(資格取得・学力向上、保護者の経済的負担軽減、その他) *

- 制服費補助…入学時の指定制服購入
 - 英語技能試験補助…英語技能検定受験料
 - 端末費補助…県指定のiPad購入
 - 資格・検定補助…合格時には受験料相当額の図書カードを支給
 - 通学費補助…公共交通機関定期券購入
 - 学力向上補助…予備校講師招聘費用
 - 通塾費補助…町内の学習塾へ通う費用
 - 地域コーディネーター業務…小・中学校や地域との交流、矢高の情報発信
- ※各項目の補助内容については、それぞれ詳細な規定や支給回数等の制限等があります。



「存続ではなく魅力化！」
鋭意臨まれる高月校長

働意識発揚に町民のご理解が得られるよう、議会の立場ででき得ることへの取り組みが正に今必要であると理解できました。



魅力化事業の必要性を解説くださる講師の藤岡教授

矢掛高校魅力化事業については、町の活性化の観点から行政・議会との意識共有が必要であると強く感じると共に、地域住民への協

矢掛高校は1町1校(県立高)であるため県教委が示した『再編整備基準』は令和10年まで保留されました。その内容は第1学年の生徒数が令和5年度以降2年連続100人を下回った場合は再編整備対象に、また第1学年の生徒数が令和5年度以降2年連続80人を下回った場合は翌年

猶予された時間…再編整備基準

度の生徒募集が停止となるもので、現況を見ると決して低くはないハードルと言えます。しかし我が町の活性化のため一人でも多くの町民が魅力化事業を知り、共有した目標に向かって協働する、同時にそれが地域連携としての『まちづくり』になるという有意義な講義でした。(おわり)

存続

存続を目指す
存続しない

魅力化

誰もが行きたい
と思う高校へ！



議 会 日 誌

- 【1月】** 12日 西部衛生施設組合議会行政視察 ～ 1/13
 13日 広報広聴常任委員会(広報研修会)
 24日 広報広聴常任委員会
 25日 福島県議会商労文教委員会視察来庁
- 【2月】** 2日 2市1町首長正副議長会
 笠岡市・矢掛町中学校組合議会行政視察 ～ 2/3
 7日 議会全員協議会
 16日 西部衛生施設組合議会
 20日 議会運営委員会
 広報広聴常任委員会
 笠岡市・矢掛町中学校組合議会
 28日 井原地区清掃施設組合議会
 井原地区消防組合議会
- 【3月】** 3日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 6日 矢掛町議会第1回定例会【議案提案説明・採決】
 7日 同 上 【議案提案説明】
 8日 同 上 【一般質問(10人)】
 9日 同 上 【付託】
 10日 総務文教常任委員会 【付託審査】
 産業福祉常任委員会 【付託審査】
 13日 予算決算常任委員会 【付託審査】
 14日 予算決算常任委員会 【付託審査】
 15日 予算決算常任委員会 【付託審査】
 16日 予算決算常任委員会 【付託審査】
 20日 矢掛町議会第5回定例会【委員長報告・採決】
 議会運営委員会
 議会全員協議会
 22日 アサヒ物産株式会社立地協定及び公害防止協定書調印式
 広報広聴常任委員会
 25日 B&G海洋センタープールリニューアルオープン記念式典

議会だより — やかげ —

令和5年5月10日 第29号

5月8日から数年にわたり町民から様々な集いの機会と楽しみ。喜びの場を奪って来た新型コロナウイルス感染症が、感染療法において2類から5類になりました。これを健康に重大な影響を与える恐れが緩和されたと捉えれば明るいメッセージとして受け取れるかもしれません。しかし5類感染症の

議員閑話 こころ音



矢掛町議会 議員 花川大志

『類は友を呼ぶ』

行状の情報が公開をもうるレベルでした。就業制限や行動制限等の法的拘束力はありませんが、自身で隔離

内容を調べてみますと感染拡大を防止すべく国が発行動向調査を行い、インフルエンザ・麻疹・風疹等と同様流

の明るい笑顔が溢れるように！

等判断が必要。つまり構えて安全宣言と捉えず自身の体調と衛生の管理を心掛けたいと思う次第です。

一方、いつまでも鬱々としてはいられないので町のそこかしこで町内外の人々の



個人や団体を問わず、趣味や文化講座・生涯学習・ボランティアなど様々なジャンルで明るく元気に活動されている“町びと”を取材し、豊かな我が町「やかげ」を紹介します。



矢掛町地域活動センター「さくら」のみなさん

「さくら商店」ご存じですか。正しくは「矢掛町地域活動センターさくら」と言います。障害のある方が、自分のペースでその人らしく生活することを支援するスペースです。

福祉の道一筋に邁進なさってきた施設長川田世利子さん、ITの達人品川直紀さん、音楽を通して穏やかな心を育む坂本道子さん。通つてくる皆さんそれぞれ得意分野を見極めて、社会参加の第一歩を踏み出す支援をなさっています。

厳しい運営状況の中にあがりながらも、暖かい雰囲気醸し出されています。また、さくらを知らない人にもどう知ってもらおうか、気になる人にどうつながるか、課題はまだまだ...と前向きな方々です。

編集後記

広報広聴委員会のメンバーになりました。4月・5月は一年間で一番過ぎしやすい時季であります。新型コロナウイルスは5月から2類から5類に変更になり、だんだん普通の生活環境になりつつあります。

議会だより編集に当たっては、表紙・記事内容の充実等を図り町民の皆様に読んでいただけるように努めて参ります。

また、皆様のご意見を町政に反映するためにも様々な団体・施設・組合等、そして何よりも町民の皆様から多くのご意見を聞かせて戴ければ嬉しく思います。今後町民の皆様と一緒に安心・安全で住みよい矢掛町にしていきたいと思っております。皆様のご声援をよろしくお願い致します。

(M・H)

編集/矢掛町議会広報広聴常任委員会(議事事務局)
 (役場専用) 〒714-1297 岡山県小田郡矢掛町矢掛 3018 ☎ 0866(82)1119 FAX 0866(82)9020
 発行/矢掛町議会 発行責任者/矢掛町議会議長 花川大志